

園だより



第 10 号

平成 26 年 12 月 19 日

「一日三食」にはわけがある

園長 山内 武道

今、朝食を摂らなかつたり、出来合いの物や即席の物を好きな時に適当に食べて済ませたり、健康や体の成長のことをあまり考えない食事をしている実態も見られます。

食事は、ただ空腹が満たされればよいのではなく、体の健康を考えて栄養バランスの良い食事にしななければならないことが忘れられている傾向もあるように思われてなりません。

人間の体は朝日を浴びると体のスイッチが入り、それに即して肝臓などの様々な内臓が動き始めることが分かっているそうです。朝食を摂らないと内臓がうまく働かず、身体を活発に動かせなくなることや筋肉が減り体力が低下すること・その反動で昼食・夕食の量が増えて血糖値が高くなることや基礎代謝が低くなるという問題点も生まれてくるということです。(生活習慣病が増加する原因にもなるのでは…)

今、日本の働き盛りの人々の3割近くが朝食を摂っていないという調査結果もあり、それはとても心配なことであるのは言うまでもありません。(勉強や仕事をするには、午前中がとても大切な時間帯…)

このことは、小さい時からの習慣づけが大切で、朝、幼稚園に来る前に食事を摂って排便もする習慣を身につけたいと願っています。朝食も挨拶と同じで、大人になって急にやらなければならないようになってから実行するのはとても難しいことのひとつです。

「良い生活習慣は才能を超える」ということを紹介しましたように、朝食も良い生活習慣のひとつで、そのことで、将来、幼稚園生活はもちろん学校等の社会生活で活発に生き活きと活動できて充実した生き方ができる要素のひとつになると信じています。

また、お昼の弁当は栄養の面だけでなく親子の絆づくりに大いに役立っていますし、夕食で食卓を囲むことは子どもの心の安定にも大きな影響を与えていることを忘れないようにしたいものです。

「食は命の源…」とされています。そのことを子どもにも年齢相応に伝えながら、一日三食をしっかりと取る習慣を身につけさせたいと願っています。無駄な間食はできるだけ避けるようにして…

抱っこ・あいさつ・お手伝い

長い休みに入り、保護者の皆さんの役割が大きくなります。子ども達がそれぞれに課題を持って規則正しい生活をしていただくことを願っています。ばんけい幼稚園では宿題が出ます。無理なく笑顔で楽しくやっていただければ幸いです。

- 抱っこ—親子の絆や血の通い合いを確かめるために…子どもは親に愛されていることを感じて安心します。力いっぱい、しっかりと抱っこしてください。
- あいさつ—人間関係づくりの糸口に…大きくなってからの学校や職場等で評価を受け、将来の財産になります。習慣として自然に声が出るようになってほしいです。
- お手伝い—家族の一員としての自覚を持たせるために…また、働くことの大切さや苦勞を知ることにもつながります。できたらほめることも忘れずに…。

感染症の予防

冬、気温が低くなり、インフルエンザをはじめノロウイルスなどの胃腸炎等々、感染性の病気が流行します。これには予防接種もありますが、それに罹らないためには、

- 手洗いやうがいを日常的に行い、習慣として身につけること
- バランスのとれた食事をしっかりと摂り、強い体力を身につける
- 規則正しい生活をし、睡眠時間を十分に取る
- 汗の始末をして、健康状態をしっかりと保つ
- 大勢の人が集まる所には、できるだけ入らず感染の機会を避ける

最近では飛行機や車での人の往来がありますので、アフリカの状況でも分かるように、遠い場所での流行も、素早く手立てを講じる必要があります。

人事異動のお知らせ

本園の副理事長 柳谷勝城が一身上の都合により、11月30日付けで退職いたしました。在職中は皆さんには大変お世話になりました。また、皆さんとお会いする機会がありましたら、声をかけていただければありがたいとのご挨拶のことばがありました。

認める・ほめる…育つ

今の世の中、とかく他と比べて劣っていることを欠点として指摘し、一生懸命さや他とは違う優れているところに目が向かない傾向があります。

人間はみんな違って能力や育ち方も異なることに気づかない社会になっているのが心配です。一生懸命さや一人ひとりの違いを認めず、偏った物差しでしか評価されないことで、持っている能力や個性が伸ばされないこともあるように思われてなりません。

特に、ある時期は一生懸命さや真面目さが馬鹿にされたりいじめの対象になったりすることもあり、日本人が元来持っている素晴らしさが消えかけていたこともあります。

それは、子ども社会に限らず大人社会にも見られた心配な現象でもあります。

特に、子どもは小さなことですが認めたいこと・ほめたいことをいっぱいやっています。(大人から見ると当たり前のことかもしれませんが…)

そこに目を向け、認め・ほめることで、子どもに限らず大人にも、いっその成長や活躍が期待できます。認める・ほめるは成長へのカギになります。

しっかりとした挨拶・友達への手助け・遊び道具の片付け・食事の後のお手伝い・自分のことを自分でやる・幼稚園に来るための身支度・朝ごはんを毎日食べる・自分の考えを伝える・転んでも自分で起き上がる等々、人生経験が数年しかない子どもにとっては大変大きなことであり、それを認めて、ほめるのが教師や親の大切な役割です。

そのことが良い人間関係づくりにも結び付き、親子の絆づくりもできます。認める・ほめるは人間関係の重要なポイントで、虹の会の仲間や夫婦の関わりにも通じます。

それは認める・ほめる側が心から思っで行うことが重要です。それが<共感的理解>のひとつで、教育に限らず全ての人間関係に当てはまります。

それが身に付けば、子どもだけでなく大人も穏やかで楽しい生き方ができると信じています。それが長所伸長型の教育であり人間がお付き合いをしていくうえでの基本です。

子ども達にも、自分も仲間(他)も認める・ほめることができる態度を身につけ、心豊かで充実した生き方ができるようになってほしいと願っています。

アンケートへのご協力のお礼と園の見解

ばんけい幼稚園園長 山内 武道

先日実施しました“ばんけい幼稚園の教育についてのアンケート”に、皆様のご協力をいただき心より厚く感謝申し上げます。ばんけい幼稚園としては、保護者の皆様のお考えをアンケートによって受け止め、園の一方通行の教育にならない運営を心がけることにしています。

皆様からいただきましたご意見には、園の意図が十分に理解いただいていない点や保護者の皆様の中でも相対する意見もありました。それぞれを大切に、子ども達が喜んで幼稚園に通い、一人ひとりが個性や能力を生かし成長していく教育を旨として努力いたします。これからの日常活動でも、お気づきのことがありましたら遠慮なく伝えてください。

《園としての見解》

1. ばんけい幼稚園の目指す教育について

- ばんけい幼稚園は、人間として生きていくうえでの基本となること・基盤となることを重視して教育を進めています。それが<やる気・元気・気遣いを育てる教育>で、それぞれの子どもの個性や能力を大切にしながら、じっくりと時間をかけ教えることにしています。また、学校生活では<やる気・元気・気遣い>は、学力向上のためにも欠かすことができない要素ですので、これからもばんけい幼稚園の基本理念として教育を進めて参ります。
- 三つの重点目標の中で、人との関わり方(気遣い)を育てることに一段と力を入れてほしいとの要望があります。これは人間が生きていくうえでの最も難しい課題ですので、全ての活動の中で指導を進めます。また、これは社会問題となっているいじめ問題解決の重要な手立ての一つになりますし、大人になってからの学校や職場に適応するためにも欠かせない大切な能力です。また、幼児期にはことばで伝える指導ではよく理解できませんので、遊びの中やもめごと等が起こった実際の場面で、子どもが理解するように具体的に教えなければなりません。さらには、絵本の読み聞かせや“けあばんけい訪問”の機会等を通して、他を思いやる態度の根本であるやさしさや思いやり等の心の教育を充実していくことにしていきます。
- また、山歩きの活動については、近年、自然環境の変化によっていろいろな地域では熊出没の情報もあることをふまえ慎重に活動範囲や場所を決めています。これまで、ばんけい幼稚園の周辺には熊が出没した痕跡はありませんが、そのための備えをすると共に毎朝、周辺の点検と爆発音をたてて熊が近づかないような手立てを講じています。自然の豊かさを体験させることと安全を守ることのバランスをとりながら、屋外での活動を出来るだけ多くしていきます。大切なお子様をお預かりしていますので十分な対策を講じ、<安全な場所を選んで山での遊びや活動を充実させ>ばんけい幼稚園の教育の基本である自然の中での活動を重視していきます。

◎皆様のご意見を大切にして、子どもの実態に即して、いっそう“ばんけい幼稚園”らしい自然を生かした教育の充実に努め、たくましく豊かな心と身体を育てていく努力をします。

※園舎外の活動では、戸外に出かけ仲間と助け合いながら汗を流し足腰を鍛え、落ち葉集めや植物を使って行う活動・冬の雪の中での多彩な活動を通して自然の豊かさや不思議さを身体で感じ取り、たくましく心の豊かな人間に育ってくれることを目指していきます。

子どもの成長を急がず慌てず、じっくりと見守っていただくことを願っています。

2. 園長の経営姿勢について

- “組織の盛衰は指導的立場にある者に大きな責任がある”と言われてしています。これは企業等に限りなく幼稚園や学校等の教育機関の経営も例外ではありません。幼稚園や学校の“指導的な立場”の者が指導力を発揮するのを怠ると、不登校(園)が多発し陰湿なイジメや暴力も起きていることが指摘されている今日の実情です。これからも子ども達の健やかな成長のために一人ひとりの教師が個性と能力を生かし力を合わせ全力を尽くす環境づくりに努めてまいります。

ばんけい幼稚園の教師は、子どもの指導について良く勉強し実力を備えていますので、是非、頼りにしていただき遠慮なく相談や要請をしてくださいますようお願いいたします。

- その様なことから、一人ひとりの教師が日常の子どもの様子をしっかりと観察し、適切な対応を行う体制を確立することにします。また、保護者の皆様同士の関わりや園への思い等を受け止めることも教育を進めるうえでは極めて大切な要素ですので、そのことも重視していきます。
- 園便り等を通じて、経営の方針等を保護者の皆様にお知らせしていますが、皆様からのご希望やご意見等がありましたら、遠慮なくお知らせください。
- 教師の子どもへの接し方は、“親の目線で子どもを見る” “子どもの目線で子どもに接する”ことを心がけ、保護者の皆様に安心して幼稚園に預けていただけるよう努力します。
- また、質の良い教育を実現するためには、教師の実力が求められます。そのために教師の研修や研究を重視すると共に教師が心身体共にゆとりを持ちベストの状態で子どもの前に立ち意欲を持って充実した指導ができるようにする環境づくりにも力を入れています。
 - ・朝 8 時に朝会 ・登降園時のバス添乗 ・降園後の園内の清掃 ・連絡帳の記入
 - ・行事や活動についての会議 ・翌日の活動の準備 ・保護者の皆様との連絡等々、3時3:30 前後にバス添乗から戻って、次の日に子どもが楽しく意欲的に活動できるための準備に全力で取り組みます。可能は限り効率的に進めても退勤は遅い時刻になりますが、園長としては、次の日にベストコンディションで子どもの前に立つことを何よりも重視し、そのために仕事を効率的に行うことを徹底するようにしています。
- 4 月中の午前保育については、その間に家庭訪問を行い、また、初めての集団生活に入る年少の子ども達が無理なく集団生活に馴染んでもらうための期間です。年長・年中の子ども達にとっては、不安そうに登園してくる年少の子ども達の様子に通園バスで直に接して、自らの成長や上の学年になったことを自覚できる時や場でもあります。一斉登園・一斉降園を原則にしているのは、その様な教育的な意味もあることをご理解ください。
- 今、食物の安全について、おやつは放射能をはじめ添加物等、安全に留意して、いろいろな手を尽くして選択しています。皆様からの情報もいただければ幸いです。また、即席食品や偏った食事・朝食を摂らない等々、食が軽視されている現状もあり、幼児期から食の教育が重要と考えます。幼い時に食べた物が一生の好物になることもありますし、自分達が植えて世話をした作物や季節に合った素材を摂ることの大切さも伝えたいことから旬の物を食べる活動を、ばんけい幼稚園の特色ある活動として実施してきました。スキー合宿では、焼き芋や蜂蜜レモンを味わい疲れを癒します。

◎そのことから、これまで同様に園長として子どもを教育する現場をしっかりと見つめ、微力ではありますが、確かな方針や指導の方法・安全に対する手立てを示す努力をします。

園長の考え方や姿勢については、何時でも幼稚園にお出でいただき、声をかけてくださればありがたいと思います。それぞれの教師が子どもの指導をしっかりとできる環境づくりをすることと、ばんけい幼稚園の教育の方向性を明確にすることが園長の最大の役割です。

※子どもへの接し方は、園長と直接指導する教師の間には当然違いもあります。園長は、子どもが喜んで登園することや安全対策・保護者の皆様の声に耳を傾ける等、全体的な立場で活動を見る役割を担っています。子どもを直接指導する教師は、時には細かくなったり厳しくなったりすることもありますので、保護者の皆様と担任教師との共通理解を大切にしたいと願っています。なお、園長の方針と教師の指導に食い違いがないように、今後も教師との十分な意思疎通を図って皆様にご理解いただけるようにしてまいります。

なお、園長としての在任期間が長いために、惰性に陥ったり傲慢になったりすることを自ら懸念しています。その様なことを感じられた場合には、皆様から遠慮なく気軽に声をかけていただければありがたいです。

3. 教師の指導姿勢について

- “教師は子どもにも保護者の皆様にも謙虚であること”が、ばんけい幼稚園の教師の基本的な心構えです。謙虚であるためには、しっかりと研修を重ね実力を備えることが必要ですので、そのために、費用を確保し、研修や研究に努めています。ばんけい幼稚園は“子どもの長所を見て、それを伸ばす”長所伸長型の教育を目ざし教師としての実力を高めることが必要です。

今後も園長はじめ教職員一同、研鑽を重ね専門職としての実力を高め、子どもにも保護者の皆さんにも謙虚な姿勢で、ばんけい幼稚園の教育を進めるよう努力いたします。

今年度も公立幼稚園等とも連携しながら、研究や研修を進め〈より広い視点での教育〉を目ざし、今後もいっそう研修や研究を重ねて自信を持って謙虚な姿勢で子ども指導に当たります。

(子どもの長所を見い出すためには、教師も親も視野を広げ実力を磨かなければなりません)

- また、ルールやマナーに反したことや善悪の判断に関わることについては、教師として、しっかりと指導します。子どもは未熟ですので間違っただけをすることは当然です。それを見逃さず、将来、人間としての財産になることをしっかりと身につけさせる方針です。

体罰や子どもの心の傷になる指導は絶対に避けますが、保護者の皆様と連携しながら幼稚園での教育が無菌室や温室の指導にならないように、教師は努力して参ります。

また、同じ活動をしていても、一人ひとりの教師の個性や考え方が異なりますので方法が異なる場合があります。それを尊重することが子どもとの結びつきや成長をいっそう促すことにつながります。そのために教師間の事前の打ち合わせを十分に行うことにします。

- 衣類の着脱をはじめ子どもが“自分のことを自分でできるようにする…”は、就学前の教育として、ばんけい幼稚園が力を入れていることのひとつです。それが小学校へ進学してからの学力向上のカギになると認識していますので、年少・年中・年長、それぞれに目標を立てて指導を進めています。そこでは、“子どもの能力に応じて…”が前提になりますが、子どもによってはややハードルが高い場合もあります。

(年間の教育指導計画と安全マニュアルは、虹の会室にありますので自由にご覧ください)

そこでも、手を貸して助ける・じっと見守る・時には突き放して自分でやらせる等の指導が必要です。やや高いハードルを越えることも子どものいろいろな面の成長に役立つことを念頭に、担任と保護者が連携協力しながら、子どもの精神的に大きな負担にならないように指導を進めていきます。ご家庭でも、その様なことを意識しながら子どもを見て実行させていただければ、いっそう成長する姿を見せてくれます。

- 人の話をしっかりと聞く態度・能力は、学校へ入学してから急にできるものではなく、幼児期から徐々に育てていかなければなりません。学校へ入学してからの学力向上のための最も大切な要素になり、また、成人してからの人間としての財産にもなります。そのことをふまえて、ばんけい幼稚園では小学校への〈就学前の指導〉として重視している点のひとつです。そのために、読み聞かせ等の機会を大切に、集中力を身に付けさせる工夫もしています。

- コミュニケーション能力については、これからに社会で生きていくうえで欠かせない力です。子どもの暴力やいじめが依然としてあり、その原因として表現力不足が、その要因とも言われ重要性が指摘されています。お泊り会のメニューや山の子まつりパートIIの出し物等を子ども同士で相談することに力を入れて取り組んでいます。

ご家庭でも子どもの話をよく聞く・子どもの話の内容を広げてあげる・子どもの考えを尊重する等々のことを心がけていただくことを願っています。

- ◎幼稚園の運営では“過去にとらわれず”現在の状況にしっかりと目を向け将来を展望し、それに即したことを創意工夫して、子どもの実態をしっかりと見て活動を進めていきます。

また、この時期、子どもは“やろうとする気持ち”と共に“やることに対する興味”が湧き、やり遂げた時の喜びを強く感じるようになり大きな成長の姿を見せてくれます。やや遅くても負担になりそうなことでも、教師や親は子どものやろうとする気持ちを尊重し、衣服の着脱をはじめ全ての活動や生活のための準備を整える活動の中で援助をして、芽生えている自立心をスムーズに育てることが大切です。《子どもの自立》が教育や子育ての最大の目的であることを忘れずに幼稚園と家庭が力を合わせて活動を進めていきたいと願っています。

4. 園生活の公開について

- ばんけい幼稚園では、園の見学は、何時でもお出でいただいて結構です…が原則です。

これは教師全員の間でも確認しています。

祖父母の方や親類の方の来園も心から歓迎しますし、その折には園長から、ばんけい幼稚園の様子を説明します。参観日を指定してほしいとの要請がありましたので、平成22年度からは参観週間を設定しましたが、前にも述べましたように、それ以外の日でも自由に子どもの様子をご覧になっていただいて結構です。

- なお、山の子祭りパートⅡの際には、子ども達が喜んで活動し動きも激しくなりスペースをとる出し物もあり大変混雑します。怪我等を避けることを考えなければならないこともありますので、ビデオで録画して、後日、見ていただく機会を設ける等の対策を講じています。
- ◎ばんけい幼稚園は、毎年作成している「ばんけい幼稚園の教育計画」を基に教師が責任を持って、子どもの教育をします。ただし、保護者の方には何時でも幼稚園において、どんな小さなことでもご相談に応じますので、遠慮なく気軽に幼稚園にお越しください。気がかりなことがある場合は一人で心配しないで、できるだけ早く幼稚園にお出でになって担任又は園長にご相談ください。

5. 親子行事について

- 親子行事については、内容や保護者の皆様の負担等を勘案して、ばんけい幼稚園の教育の実態や親としての子どもへの接し方を知っていただくことを目的に出来るだけ数を絞って実施していきたいと思えます。

なお、ご都合のつかない場合等は、ご連絡をいただければ教師が替わって子どもに対応しますので、遠慮なく申し出てください。土日に都合が付かない場合は、平日にお出でいただき子どもと一緒に山などにでかけても結構です。

- 畑の活動については、<赤組は>芋掘りをして茹でて味わう<緑組は>枝豆を収穫して枝からはずし茹でて味わう<青組は>畑で収穫したイモやニンジン・タマネギ等を自分たちで切って、カレーライスにして味わう活動を「秋覚の日」と名付けて行いました。これはこれからも継続して行い、3年間でどの活動も体験すること目指し、いずれも味わう時は全園児が参加します。秋覚の日は、保護者の方々にご支援をいただきました。心から感謝いたします。
※アンケートにこんな声がありました。

秋覚の日のお手伝いをしてくれたお母様方にも、大感謝です。

- 親子山歩きは、自然の中で親子の絆づくりをするばんけい幼稚園の重要な行事として位置づけていることをご理解ください。お忙しいとは思いますが、ご協力をお願いいたします。

なお、熊情報がありますので、山歩きの範囲が狭くなります。ご理解をお願いいたします。

- 発表会（お遊戯会）については、入園見学の際に説明しました様に、自然体験を大切にすばんけい幼稚園の方向性とは合致しない面がありますので、これまで行っていません。発表会は、ともすれば見せることに重きがおかれ結果にこだわる傾向になりがちで、子どもに“ばんけい幼稚園の教育の目的”とは異なる負担を負わせることが予測されます。

ばんけい幼稚園は結果よりも過程を大切にする指導方針ですので、これからも特別に発表会を行いませんので、ご理解ください。

ただし、クリスマス会・山の子まつりパートⅡ・運動会(リズム運動)等の折に、子どもの考えを尊重して劇や音楽等の要素を取り入れ発表会的な活動を行っています。

- 運動会で順位をつける競技については、年少組は、先ず運動会という行事を体験すること・年中・年長組は自分の力で難関を乗り越えること〈個人競技〉仲間と協力すること・他と競うこと（おみこし・リレー）に目的を広げていきます。そのために年齢に即してバランスを考えながら種目を決めていきます。

- 運動会の日程については、天候が最も心配されますので、今年度の様に日程の幅を広げて屋内での実施にならない工夫をしたいと考えています。

- 長い休み中に親子で遊んだり運動したりできるように、夏冬の長期休業中の園解放日を設けています。希望される方は親子で、園の周り等で遊んだりお昼ご飯を食べたりして楽しんでください。数人の教師が来ていますので、何かありましたら申し付けてください。

- ◎今、親子の関わりや絆を見直さなければならない事件等も起きています。それは、ある年齢になってから突然現れるのではなく、幼少期からの積み重ねが大切です。これからも創意工夫して子どもと親だけでなく祖父母の皆様とも触れ合い、絆を深め温かい心が育つ親子行事を企画していきます。保護者の皆様には、特段のご理解とご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

6. クラス懇談会・個人懇談・家庭訪問について

- <家庭訪問のねらい>は、新しい年度にあたり担任がお住まいの場所の確認やご家庭での子どもの様子を知り親近感を持っていただくこと・保護者としての願い等をお聞きして幼稚園での指導に生かすことを目的にしています。それに対する担任としての考え等も出来る範囲でお伝えします。なお、希望される方のみにしています。
- <クラス懇談のねらい>は、幼稚園でのそれぞれの年齢に即した生活の様子や個々の子どもの課題を知っていただいたり、幼稚園と家庭の連携協力について話し合ったりして、これからの幼稚園での指導や家庭生活に生かしていくことをねらいとしています。話し合いの視点を明らかにして、懇談に臨む等の工夫をしていきたいと考えています。
※こんなコメントもいただきましたので、ご紹介します。
“参観懇談は、同じクラスのお母さん達とも会えるので、楽しみにしています”
- <個人懇談のねらい>は、1学期の家庭訪問等で確認したことが、その後どれくらい成長したか・今後の課題は何か・等、家庭と幼稚園での子どもの様子を話し合い、これから伸ばしていきたい長所・力を入れて指導したいこと・教師と保護者が連携協力し指導していくこと等、幼稚園や家庭で実践することを確かめ合うことをねらいとしています。そのことから、ある程度の幼稚園生活を経験した結果が表れる2学期に行っています。個人懇談は基本的には、希望をされる方との話し合いの機会ですので、特に相談等のない方は不参加の意思表示をしていただくようお願いいたします。懇談の時間不足の指摘がありました。保育日数との関わりがあり全体の時間が限られていますので、今後の検討課題とさせていただきます。

◎三つの懇談の機会は、それぞれのねらいが異なりますので、幼稚園としてもねらいを達成するために準備を整え、保護者の皆様にご理解をいただけるようにいたします。

◎保護者の皆様からの提案等がありましたら、教師へお伝えいただきたいと存じます。

また、子育てでは担任や他の保護者の方々との人間的な関わりを大切にすることも不可欠ですので、その様な視点からもいっそう内容を充実させる努力をしたいと考えています。

7. 臨時休園について

- 臨時休園は基本的には避けなければなりません。しかし、急な大雪や道路の大渋滞・インフルエンザ等感染症による症状が急に多数現われた場合・台風の強風等、子どもの安全や健康に影響を及ぼす場合は、決断しなければならないこともあることをご理解ください。
- 通園バスは子どもの命をあくまで守るという認識で運行しています。運転はもちろんですが、担当者が日常の始動点検・定期点検などきめ細かく行っています。
また、渋滞などで皆様にご迷惑をおかけすることがあるかもしれませんが、それが最小限になるように、素早く連絡網で連絡をするよう努力いたします。
- ◎皆様にはご迷惑やご心配をおかけすることもあるかもしれませんが、自然が相手の出来事や感染症でやむなく休園することもありますのでご理解ください。
この後、インフルエンザやノロウィルスの流行が予想されます。臨時休園の事態にならないように幼稚園でも予防対策に力を入れていますが、子どもの体調管理や感染防止のためのご家庭のお力添えもお願いします。

〈追伸〉

- ※なお、保護者の皆さんが車の都合が付かない場合は、タクシーの費用が多額になりますので、子どもの体調不良時も含め、可能な限り幼稚園のワゴン車を出します。遠慮なく、担任へお申し出ください。
- ※運動会のマナーや席取りについては、ばんけい幼稚園の保護者の皆様は良識的でマナー等も大変よく守っていただいています。心から感謝しています。
- ※冬の靴下・手袋は、必ずしも手編みでなく市販の物でも結構です。子どもが外で活動する時に冷たくないようにしていただければ問題はありません。毛糸でなければならぬとの噂もあるようですが、そうではないことをお伝えしておきます。

8. 虹の会の活動について

- 虹の会は、仲間で力を合わせて活動することによって“子育ての仲間づくり”をしていただくことを目的とし、ばんけい幼稚園の経営に関わる重要な活動として位置づけています。ですから、益金活動や奉仕活動を取り入れないようにしていただいています。
- “山の子祭り”は、お母様方が長い期間をかけて準備し、子どもが親の温かさや愛情を感じ取る催しと理解しています。山の祭りが子どもが計画し実践した「山の子祭りパートII」の手本になっていて、教育的に大きな意義があり子どもの活動に良い影響を与えています。
- これからも“無理なく・楽しく・ゆったりと”活動していただき、それぞれの方の事情や気持ちを大切にして、決して負担にならないように活動することを皆さんで確かめ合いたいと思います。保護者の皆様が良い関わりをもち、それを子育てに活かしていただくことを目的として、楽しい活動にするよう心がけていただくようお願いしています。今年度も役員の皆さんの努力で、それが進み、できる範囲で・・・が大前提として、運営されていると確信しています。
教育と同様に人の営みには完璧がありませんので、意見を出し合いより良い方向に進めていくことを目指していただきたいと願っています。
- 初めて札幌に引っ越しして来られて仲間がなく、虹の会での触れ合いを楽しみにしている方も多ようですので、そんな場として気軽に参加していただければありがたいです。それが親の不安や迷いを取り除き、孤立化を防ぎ良い子育てに結びつくと思っています。
※虹の会について、そのあり方をご理解いただいていると感じたご意見がありましたので、原文のままご紹介します。

「たでの交流があり、世界が広がった感じがあります。ありがたいです。
各部で忙しい部分もありますが、“やりたい人”“やれる人”が中心になり、それを見ている人が助けるなどの行動をするという気がします。“無理なく”ということの深い意味があると思います。がんばり過ぎないで、自分の為に、子ども達の為に出来ることを一生懸命する。それが、他人から大変に見えても、本人が無理していなければ良いのではないかと等と、いろいろ考える部分もあります。

- ◎保護者の皆様同士の関わりは幼稚園の経営にも大きな影響があります。特に、子どもの喧嘩やもめごと等、子どもの関わり方については保護者同士が共通の理解を持って見守り、心身共にたくましい人間形成に役立てていただくことを願っています。
また、これからも一人ひとりの事情や考えを認め合い・相手の長所に目を向けて取り組み、よい人間関係を築き楽しく活動する虹の会にしていただくことを願っています。
本年も役員の皆様には、子育ての仲間づくりを最優先に運営していただいていると確信しています。これからも“無理なく 楽しく ゆったりと”活動し、子どもだけでなく保護者の皆様にとっても楽しい思い出が残る幼稚園になることを願っています。

以上8点について園としての見解を述べさせていただきましたが、漏れている点や説明が不十分な点等がありましたら、遠慮なく園長までご連絡・お問い合わせください。

また、アンケートは全職員でよく読んで、いろいろなご意見を謙虚に受け止め実践に生かしていきます。日頃から、教育には完璧はないことを肝に銘じて、保護者の皆様の声に耳を傾けながら、より良い教育を目指して参ります。今後共、温かいご支援・ご協力と厳しいご指摘もいただきますようお願い申し上げます。ご協力ありがとうございました。

なお、昨年度と重複している内容もありますが、今年度入園して来られた方もいますので重ねて説明した項目もありますので、ご了解ください。